

# ゆきの灯り

第35号  
令和元(2019)年  
12月発行  
油木協働支援センター  
TEL 82-0701  
FAX 82-2228

## 地域とのふれあいを育む



11月12日(火)に神石高原中学校と油木協働支援センターが連携し地域ふれあい行事を行いました。

この行事は、「Jin」プロジェクトの一環として、地域に対する愛着と誇りを育成することを目的に、各地域の協働支援センターと中学校が連携して活動を行うものです。初めての今回、油木協働支援センターではめがね型のしめ飾りを作りまし

講師が一人一人丁寧に指導してくださったおかげで、皆上手にほどけない縄を作れるようになりました。皆自分のしめ飾りを作ることが出来ました。生徒の感想は、「しめ飾りを纏うのは初めてで難しかったが、友達と教えあったり、講師や地域の人が丁寧に教えてもらったりして、友達との仲や地域の人のつながりを深めることが出来た」などありました。



縄を纏うのは難しい

中学生からお礼の言葉が贈られた



## 残したい『伝統と文化』

神儀の映像  
保存を模索

11月吉日。

忠原山八幡神社の例祭にお邪魔し、神儀の映像を動画撮影させていただきまし

た。

本年から各地の神儀を映像化して残しておく「保存事業」をスタートさせます。

少子高齢化が進み、人口減少が加速する中、古くから行われていた各社の例祭も賑やかさを失いつつあります。取り分け『神儀』は集

落の氏子による奉納の舞であり、地域の大切な『伝統・文化』の一つ。それも年々縮小傾向にあります。

『このまま失われては地域の歴史が埋もれてしまう。』

そこで今年度はこの撮影チームを編成することとし、今回の撮影は保存の内容と撮影方法の検討のため実施させていただきました。

この映像と撮影の状況を基に、12月17日にチームが集まって打ち合わせを行います。

「何を、どのように、映像に残すのか。」

本格的な撮影は来年度から。年に2〜3カ所ずつを予定しています。

今回ご協力いただいた地域の皆様、ありがとうございます。正式な撮影は年を改めて伺います。

11月22日(金)、農村環境維持・向上事業

部会が開催されました。

本年のこの部会では農地利用の受け皿となる「担い手」に対して、経営を維持して

いくための具体的な支援を制度として確立することを着地点として

しています。

2回目となる今回は、前回絞り込んだ課題について具体的な対策を話し合いました。

課題は次の2つ。

- ・労働力不足解消
- ・鳥獣被害の軽減

それに対し次の4案が提案されました

① 労働力軽減策

『防草シートを利用した畦畔の草刈り作業軽減策』。雑草を枯らさないで草丈を抑える防草シートを利用。労力を軽減する。

② 労働力軽減策

『リモコン草刈機の導入』。草の刈りにくい畦畔に対し、リモコン操作による草刈機の導入によって労力の軽減を図る。

③ 労働力と次期担い手の確保対策

労働力確保に取り組み中核組織を編成し、

### いちば再生事業 専門部会

11月13日(水)、今年度第一回目となるいちば再生推進事業部会が開催されました。

市場周辺の賑わいを取り戻すことを中心に、情報提供や利用者対策を話し合うための部会として、昨年までは「住民が気軽に会話を交わせる集いの場づくり」に注力し、油

木協働支援センター分室「にしかわ」が生まれました。

今回の話し合いでは、まず「いちば地域内の空き家の活用」について話が行われ、次いで、「にしかわ」の利用状



市場筋の活性化が課題

### 農村環境維持・向上事業 専門部会

労働力募集・地域ニーズとのマッチングなどを行うコーディネーターを配置する。

④ 鳥獣被害対策

住民からなる専門対策チームを結成し、捕獲、餌場の除去、住民への啓発活動などを組織的に行う。



①・②案に絞り込み、次回、導入に向けての計画について話し合いを行う事に決まりました。制度とすることのどのよう内容にするか、また有効性を確認する実証実験をいかに行うかを検討します。



### 体験・交流推進事業 専門部会

11月26日(火)、分室「にしかわ」にて体験・交流推進事業部会が開催されました。

本部会は昨年度までに「一緒に未来を見つけようプロジェクトin油木」の制度設計を行い、人口減少への対策として交流人口を増加させるための体験交流を推進することに努めました。昨年は制定された制度の有効性を検証するため3つの実証実験がなされました。

昨年年度末で部会員の2年の任期が終了したため、次回の部会からは、再任を含め新たな部会員を加えて再編を図る予定です。

実証実験の結果として『既存の体験イベントにて実施したため、導入の効果が顕著に表れない』

11月2日のお茶教室は炉開きでした。最初に講師のお点前を見た後でお茶を頂きました。その後盆点前を低学年と高学年の交替でしました。今回は参加者が少なく、ふくさ捌きやお茶室での歩き方など、一人ずつ、時間をかけて習いました。

### 難しいふくさ捌きを頑張りました



#### ゆきキッズクラブ

### 室内で体を動かせるスポーツ！ スカッシュ

11月10日(日)のスカッシュ体験の教室は新たに油木地区外の方が3名参加され、計19名での開催となりました。今回で最後の教室でしたが、皆さん満足されていました。スカッシュ体験教室は今回で終わりますが、スカッシュルームは引き続き利用すること出来ます。神石

#### 大人の教室



郡司コーチのわかりやすい指導

高原町民ならば個人でも4時間400円で利用が可能です。道具も無料で貸し出しが可能ですので、お気軽にご利用ください

11月23日はしめ縄作り体験教室・神楽観賞会を行いました。しめ縄作りは初めてのキッズも多かったですが、自分のしめ縄を綺麗に作れており飾り付けも上手に出来ていました。神楽観賞会では、皆神楽の演技に見入っていて静かに観賞していました。

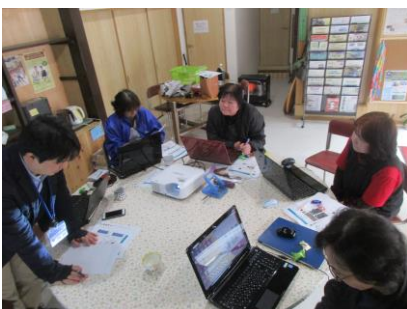
#### 伝統文化を新しい世代に伝えよう



上手に作ったよ



迫力のある神楽鑑賞会



「にしかわ」でパソコン教室

#### パソコンでクリスマスカードを作ろう

10月29日から12月3日(火)まで、計5回パソコン教室を行いました。文字の打ち方からはじめ、図形や写真の入ったオリジナルのクリスマスカードを作りました。



通報訓練

11月13日油木協働支援センターといちば自治振興会が合同で、通報・消火・避難訓練を行いました。通報訓練と避難訓練では油木コミュニティセンターの給湯室からの出火を想定しての訓練を行いました。

#### 消防訓練



消火訓練

消火訓練ではセンター前の木を火に見立てて消火器の使用訓練をしました。最後には火災時の対応について説明を受けました。火が天井までいったら自分で消火することは出来ない、早めに通報することが肝心である等といったことを学びました。



2つのチームで企画進行中！

#### 住民の語らいの場

「懐かしの写真展」企画先月の呼びかけで数人の方から写真の提供がありました。ありがとございます。さて、いちば再生事業部会での話し合いの際にまた「古い写真なら一度油木町時代に集めたはず」という情報があり、チームでも「四季と懐想」を見てみました。覚えていらっしやいますか。合併直前に町でまとめたDVDです。ここに収録された画像の線から古い写真を探す事にしました。



「油木のまち歩き」企画や「難航気味の「まち歩き」企画」というのも今、話題の中心は「なぜ油木は(加えて市場界隈は街として発展したか)」なのです。メンバーそれぞれが様々な理由を仮定するもの、それを裏付ける資料に行きつきません。飛び交う仮説。準備した近隣市町の郷土誌や油木町に関する資料をめぐりつつ、話はあっちに行ったり、こっちに行ったり。結論は出るものの、ストーリーのある企画になりません。「テーマ」を決めないと話をどうまとめたいかわからないのではないかと。そこで日を改めて、試しに筋立てを先に考えてみる事にしました。次回、無事テーマが決定するが、このご期待です。



受講して安全に花火を使用しましょう  
10月31日(木)に41名が参加し、動物駆逐用花火安全講習会を開催しました。動物駆逐用煙火を使用するには、保安手帳を取得することが必要です。来年度も講習会を予定しています。

### 文化活動助成事業のご案内

お知らせ

郷土文化・地域振興・観光振興に係る事業に使用できます。

募集期間	令和2年1月17日まで
対象者	文化事業を行う団体
助成金の額	上限20万円
対象事業の例	・地域資源を活用した地域の情報発信につながる文化事業 ・地域資源を活用した地域内外の交流を促進する事業 ・伝統行事、民俗芸能等の後継者創成のための研修会の開催 など
提出先	町役場または町教育委員会

【問い合わせ先】公益財団法人ひろしま文化振興財団(担当:高井)  
TEL:082-249-8385 FAX:082-249-7531  
※油木協働支援センターでも資料の配布を行っております。

#### 『化石魅力化の集い』 開催のお知らせ

日時:令和2年1月19日(日)  
午後1時30分~3時30分  
場所:「にしかわ」

標本管理台帳製作に使用するための化石の写真撮りや、レプリカ制作を予定しています。お気軽にご参加ください。